

# 衆議院予算委員会ニュース

平成 24.2.21 第 180 回国会第 13 号

2月21日(火)、第13回の委員会が開かれました。

- 1 平成 24 年度一般会計予算  
平成 24 年度特別会計予算  
平成 24 年度政府関係機関予算
- ・川端総務大臣、小川法務大臣、玄葉外務大臣、安住財務大臣、平野文部科学大臣、小宮山厚生労働大臣、鹿野農林水産大臣、枝野経済産業大臣、前田国土交通大臣、細野国務大臣（原子力行政担当）、平野復興大臣、松原国務大臣（国家公安委員会委員長）、自見国務大臣（金融担当）、筒井農林水産副大臣及び政府参考人に質疑を行った。

（質疑者及び主な質疑内容）

## 阿久津 幸彦君（民主）

- ・良質な住宅の取得を促し、住宅市場を活性化させていくための方策について前田国土交通大臣の所見を伺いたい。
- ・被災地の復興に当たっては、元に戻すという発想ではなく、少子高齢化や地球温暖化対策など、我が国の課題への取組を先取りするまちづくりにしなければならないと考えるが平野復興大臣の見解を伺いたい。

## 石田 三示君（きづな）

- ・現在 T P P 交渉参加に向けた協議が行なわれているが、玄葉外務大臣の考える国益について伺いたい。また、その国益における食料安全保障の位置付けについても伺いたい。
- ・我が国の食料安全保障を脅かすような形での T P P 参加はありえないと考えるが玄葉外務大臣の所見を伺いたい。
- ・政府は 2020 年までに食料自給率をカロリーベースで 50% という目標を掲げているが、その実現可能性について伺いたい。

## 柴山 昌彦君（自民）

- ・社会正義は、確定した死刑判決が速やかに執行されて初めて実現されるものではないかと考えるが、小川法務大臣の見解を伺いたい。
- ・DV や児童虐待等の様々な人権侵害について、個別の機関、地方自治体、弁護士会等による相談窓口が整備されている中で、委員の身分保障や職権行使の独立性を備えた統一的な行政委員会を設置する必要性はあるのか。
- ・安愚楽牧場に対しては、景品表示法違反に関する調査のみならず、2010 年春の口蹄疫発生により同牧場の牛の頭数がオーナーの持ち分を大きく割り込むことが確実となった段階において預託法上の立入調査も行うべきであ

ったのではないか。

## 古屋 範子君（公明）

- ・保育所におけるアレルギー対応ガイドラインの普及啓発のためには保育所関係者に対する研修予算の確保が必要であると考えているが、安住財務大臣及び小宮山厚生労働大臣の所見を伺いたい。
- ・小児の永久歯先天性欠如について、学校の歯科検診において早期に発見できるような体制作りが必要であると考えているが、現在の学校における取組について平野文部科学大臣に伺いたい。
- ・東日本大震災の教訓を踏まえ、医療分野の ICT の利活用により、セキュリティに配慮しつつ、医療、投薬、介護等に関する情報を共有するとともに、遠隔医療にも活用する取組を強力に推進すべきと考えるが、川端総務大臣の所見を伺いたい。

## 宮本 岳志君（共産）

- ・我が国がこれまで留保してきた国際人権規約の社会権規約（A 規約）の「中等・高等教育の漸進的無償化」に関する条項について、玄葉外務大臣は、いつ留保の撤回を事務方に指示したのか、また、いつ国連に報告するのかについて伺いたい。
- ・OECD 加盟 30 か国のうち、「大学授業料の無償化」と「給付制奨学金」のいずれも存在しない国が我が国以外にあるのか、文部科学省に伺いたい。
- ・今日の大学生の就職内定率の低さや非正規雇用の多さに鑑み、貸与型奨学金の返済は困難であることから、文部科学省は平成 24 年度概算要求において給付制奨学金の導入を求めたものと考えているが、平野文部科学大臣の所見を伺いたい。

## 阿部知子君(社民)

- ・原子力行政に關与する大学教授の委員らが原子力關連企業から寄附等を受けていたことに国民の疑念が深まっていると考えるが、枝野經濟産業大臣はどのような認識なのか伺いたい。
- ・委員等に就任する者の關連企業からの資金の受取についての申告を公表し、第3者機關が利益相反に当たるかどうかのチェックを行うべきではないか。

## 山内康一君(みんな)

- ・臓器移植法の改正によって、家族の承認で移植が可能となったことから、ドナーの家族に対する心のケアが必要と考えるが、小宮山厚生労働大臣の所見を伺いたい。
- ・臓器移植は脳死に至るまでの救命が十分に尽くされなければ信頼は得られないものとするが、現在の救急医療体制の状況を伺いたい。